

8月25日（金）～27日（日）

「日本で最後に作られた城・福江城（五島市）」 &  
「五島列島夕やけマラソン」に行ってきました。

◎ この城の石垣は、「穴太衆」(あのうしゅう)によって積まれた石垣です。



福江城（石田城）は、文久3（1863）年、第31代・五島盛徳公の時に完成した、日本で最後に造られた城である。現在は、石垣と蹴出門（当時の裏門）、陰殿屋敷（藩主の隠居所）だけが残っている。

築城には、14年の歳月を要した。それは、この城が日本で唯一、三方を海で囲まれた“海城”であり、砂州の上に造られた城だからである。

その頃、日本近海には外国船が数多く出没していた。幕府は、海防のために福江城の築城を許可した。表門（現在は五島市立図書館が建っている）は海に面し、藩主らは船を使って出入りした。

現在、城の周囲は埋め立てられ、当時の姿をしのぶのは難しい。しかし、外掘公園に面した石垣は、厚さが6・5mもあるところがあり、強い波風と外国船の侵攻に備えるつくりとなっている。

同じ理由で福江城には高くそびえる天守閣はなく、平屋の陣屋が建っていた。その陣屋も現在は取り壊され、跡地には県立五島高等学校が建っている。

2017年、福江城は、古いものでは400年以上も前の石垣と海城であったことから、公益財団法人日本城郭協会によって「続日本100名城」に選ばれた。

新型コロナウイルスの影響で4年ぶり開催

◎「第37回五島列島夕やけマラソン」参加しました。

夏の夕暮れの長崎県五島市福江島を駆け抜ける第37回五島列島夕やけマラソン大会が26日、同市東浜町2丁目の五島港公園周辺を発着点に開催されました。同市のシンボル鬼岳の麓を1周するハーフの部（17:30スタート制限時間3時間）に1511人が夕日を背に力走。19時頃になると薄暗くなり、島のコースで最低標高:0m 最高標高:58m 高低差:58m 苦しい思いをしながらも沿道からは市民の方から盛んに声援や拍手を送って頂き、無事完走できました。マラソンスタート時刻は夕刻であるため、9時から16時頃まで、世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」を観光ができました。

